

高知カツオ県民会議 第 26 回カツオ食文化分科会 議事録

場 所 株式会社丸三 会議室

開催日 令和2年9月24日 13:30~14:30

参加者

(株)ノーベル 木村祐二	ザクラウンパレス高知新阪急 中西克行
龍馬学園 島田和幸	RKC調理製菓専門学校 三谷英子
(株)ティーエルホールディングス 久保公晶	高知広告センター 松岡洋介
高知広告センター 奥代智	食文化分科会事務局 別府康高

合計8名

1. カツオマイスターの現状と課題について

高知広告センター(前高知カツオ県民会議事務局)松岡氏より、175 名のカツオマイスターが認定されている状況と、ロゴマークの使用についての現状の課題について説明があった。ロゴマークの使用については、令和元年 6 月 4 日の分科会にて、カツオマイスターのロゴマーク等使用規約が承認されている。しかしながら、旧ロゴマーク(魚ヘンにひらがなのかつお)から新ロゴマーク(漢字の鰹)への変更や、新型コロナウイルスでの分科会未開催時期などが重なったことで、時間経過があったことから、再度規約全般について確認をおこなった。

高知のカツオのPR、カツオマイスターの認知度アップに積極的にロゴを活用していただきたいという意見で一致し、認定者が新ロゴを使用規約に基づいてさっそく活用できるようにすることが確認された。

なお、承認から 1 年が経過していることもあるので、管理費用について委託先である高知広告センターの再見積もりをおこなうこととした(3,000 円程度から逸脱しない範囲になる見込み)。

ロゴの商標登録について、令和 2 年 2 月 27 日の分科会で承認済みであるが、すみやかに商標登録をおこなうことをあわせて確認した。

2. 食文化分科会の展開について

①カツオマイスターの第 1 回審査は、継続して食文化分科会が実施する

②カツオマイスターの認知度をどのようにアップさせていくのか、高知の食文化としてのカツオをどのように発信するのか

以上 2 つが今後の分科会のテーマになる。今回、出された②のアイデアは、

・カツオマイスターが一堂に会するイベント

・カツオマークのマスク

・土佐の「おきゃく」や、土佐の豊穰祭などのイベントでのカツオマイスターのPR

カツオマイスターが焼いた『かつおのたたき』など

・体験、着地型の観光 (県外だけでなく県内のお客様にも)

カツオマイスターが講師となって、自分でカツオをさばいて、焼いたたたきを土佐の地酒を飲みながら楽しむ。日曜市+郷土料理を体験するツアーも面白い。

『旅館ホテル+調理師学校、あぐりこれっと、高知城歴史博物館など』、宿泊施設と調理スペースのある施設とのコラボレーション、そして高知県農産物マーケティング戦略課や地産地消課など行政との連携でさらなる工夫が創造できる

3. 今後のスケジュール

2ヶ月に1回の開催とする

【次回開催日】未定